



# 三田中だより

令和2年度4月号  
令和2年4月6日  
港区立三田中学校

## 主体性といたわりの心と

～豊かな団結力と全力で取り組む文化～

校長 渡邊 常次

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2、3年生の皆さん、ご進級おめでとうございます。令和2年度がスタートしました。

日本だけではなく、世界全体で厳しい社会状況が続いています。多くの人が出口の見えない息苦しい閉塞感を感じています。そんな中で、早く友達に会いたい、授業を受けたい、部活動を練習したい、とにかく学校に行きたいと思っている生徒も多いと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で学校は、5月6日（水）まで臨時休業になりました。これから家庭学習で行う、各教科の課題等も出されます。今後、登校日等も検討します。臨時休業中も、健康状態の確認等のために各家庭に電話もさせていただきます。教職員は、平常通り学校で勤務しています。ご家庭に何かご連絡があるときには、ホームページ等でお知らせいたしますので、こまめなチェックをお願いいたします。

さて、今年度、三田中学校が目指すものが二つあります。一つは、「主体性」です。「主体性」とは、自分で考えて、判断して、行動できる力のことです。「主体性」は、ときに、自分の隠れた可能性や魅力を引き出してくれます。昨年度も三田中生の「主体性」が、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事や各学年の宿泊行事などの様々な場面で、遺憾なく発揮されました。そして、集団としての主体性を発揮したことで、現在の三田中学校の「何事も全力で取り組む文化」が創造されたように思います。「全力を出し切ることで得られる感動、達成感、充実感、連帯感、そして、個々の大きな成長と集団としての質の向上は、とても素晴らしいものがあります。また、そういう集団の中で個々の意識が高まり、強い団結力が生まれ、学級、学年、学校全体に豊かな人間関係がつけられました。それは、授業にも反映され、真剣に授業に取り組むことがごく自然で、当たり前のようになっています。今年度も、学校全体で、授業、行事、委員会活動、部活動、クラスの係や当番活動など主体的に取り組んでほしいと思います。一人一人の主体性が生み出す、「豊かな団結力」や「全力で取り組む文化」を三田中のよき伝統として、たくさんの感動をつくっていきましょう。

もう一つは、いじめのない三田中学校を目指すことです。簡単に言うと三田中生がみんな仲良くすることです。三田中学校の教育目標の一つに「自他を尊重し、共感し合う生徒」があります。思いやりやいたわりの心もち、相手の弱い部分に寄り添い、尊重し、共感できる生徒に育ててほしいと思います。そのためには、お互いを気遣えるような豊かな言葉の環境をつくっていきましょう。会話の中で相手を元気に明るくする言葉をたくさん使うように心がけましょう。冷やかしかからかいなど、相手を傷つけるような言葉は、いっさい厳禁です。一人一人が実践することで、三田中ならではの、生徒同士、生徒と先生の豊かな関係、最高の信頼関係を築いていきましょう。

不透明で、先が見えない厳しい状況が続きます。とても大変ですが、みんなでこの苦難を乗り越えていきましょう。そして、今年度も「明るく、元気な三田中学校」をみんなでつくっていきましょう。

### ☆予 定

4月6日（月）始業式 4月7日（火）入学式

4月11日（土）保護者会は、中止させていただきます。